

補聴器購入費助成の実現の経緯

公約実現

三鷹市議団は選挙のたびに★各常任委員会に所属することが出来る4人の議員団を!★議案提案権を活用できる4人の議員団を作らせてくださいと訴えており、4年間の任期中に公約である議案提案権の活用と言う事で、条例提案を行ってきました。

これまで三鷹市議団は子ども医療費無償化、敬老金復活、国民健康保険税の二人目以降の子どもにかかる均等割り軽減など条例提案や予算組み替え動議などを行ってきました。コロナ禍で財政も厳しいであろう中でもお金もあまりかからなくて、実現したい市民の切実な要求は何か?を考えました。パートナーシップ条例とか、認知症条例など考えられましたが、高齢者の難聴問題が話題となり、会議の中でも聞こえないという人も多数出てくる中、補聴器が高い過ぎるという話が出て、都議団が調査を行い、議会質問もされ、都の包括補助が使えろと言う事もわかったので、補聴器購入費助成の条例提案を行うこととしました。柏市で超党派での条例提案を行っていたのを参考にして、条例を作成しました。委員会での質疑に備え、条例制定市の状況、財源なども調査いたしました。

◆2020年12月議会 条例提案

(65歳以上、非課税世帯、上限3万円、100人としても300万円です。

◆2021年2月厚生委員会
コロナ禍だからこそ、
補聴器購入費助成を!!

公明「時期尚早」自公否決

◆2022年3月

予算に盛り込まれる

(18歳以上の市民・本人所得210万以下、

上限4万円、250人を見込み)

補聴器購入助成の必要性

①70歳代男性の23.7%、女性10.6%、

80歳代男性の36.5%女性28.8%の人が難聴

②話が聞き取れないためちぐはぐに答え、
認知症と間違えられる。

③聞こえないため、講演会など出かける機会が
少なくなり、認知症のリスクが高まる。

④難聴者の14.4%の人しか補聴器を利用して
いない。

⑤補聴器の値段は3~50万。平均15万円。

市民運動の取り組みとして~

①年金者組合で学習会開催 2021.9.9

②年金者組合と生活と健康を守る会の連名で

市長あて要望書を提出 2021.11.25

③議会の傍聴には新婦人をはじめ、年金者組合・生活と健康を守る会の方々が多数参加。

原案
課題
調整
西己
所得
金額UP

